ODELIC

オーデリック株式会社
第78期（2017年3月期）決算説明資料

オーデリック株式会社
http://www.odelic.co.jp
JASDAQ
6889

目 次

ODELIC

1. 市場環境と2017年3月期連結業績

2. 品目別販売実績

3. 2018年3月期業績予想及び中期経営計画

4. 資料

ODELIC

1-1. 市場環境推移

1-2. 連結業績推移

1-3. 事業成績

1-4. 営業利益増減分析

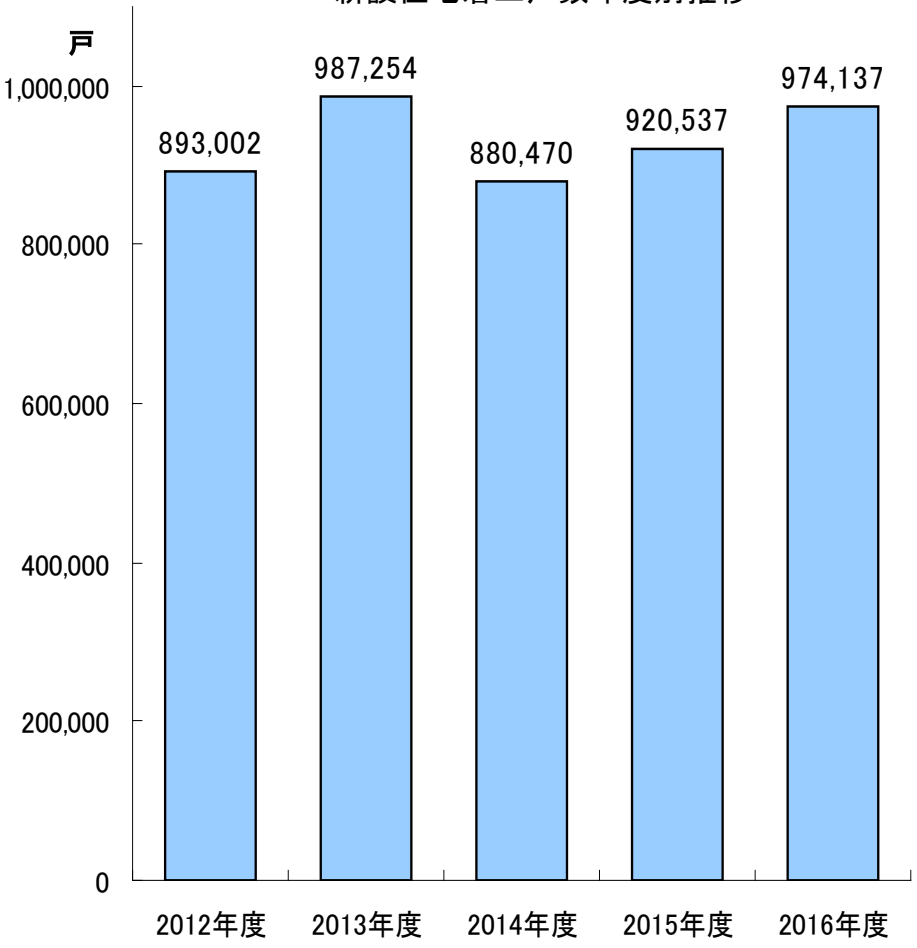
1-5. 資産・負債の増減

1-6. キャッシュ・フロー

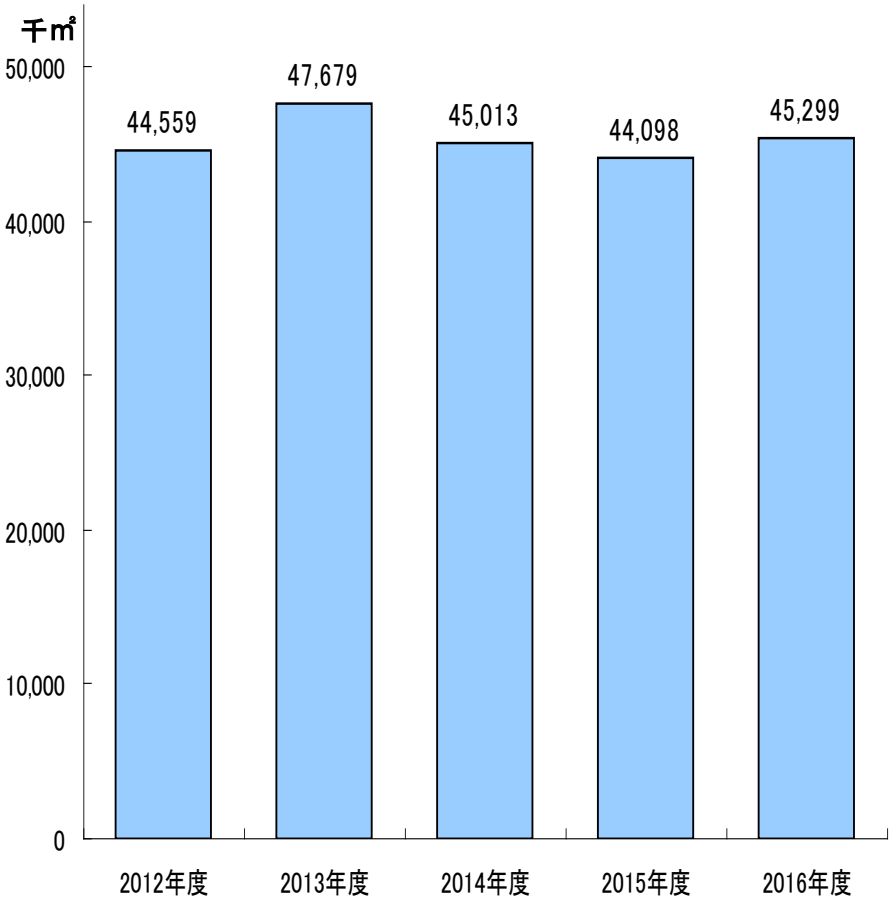
1-1. 市場環境推移

ODELIC

新設住宅着工戸数年度別推移



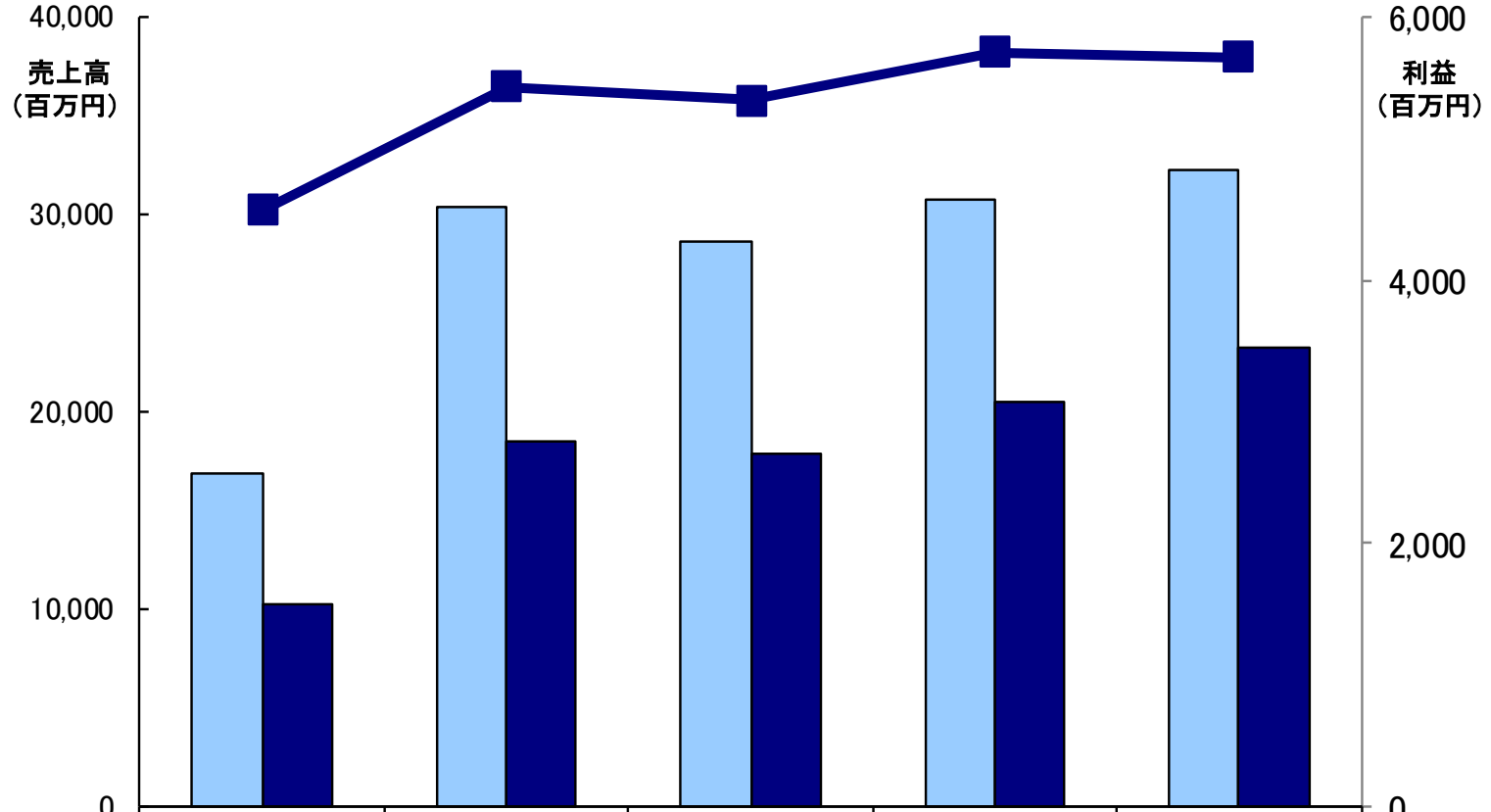
非居住用建築物着工床面積年度別推移（民間）



○新設住宅着工戸数は、974,137戸。
・前期比　5.8%増、貸家住宅（11.4%増）の着工が牽引
○非居住用建築物着工床面積は、45,299千㎡。
・前期比　2.7%増、事務所（10.3%増）、倉庫（7.3%増）の着工が牽引

1-2. 連結業績推移

ODELIC



	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
売上高	30,178	36,437	35,768	38,204	37,951
営業利益	2,525	4,558	4,288	4,618	4,837
親会社株主に帰属する当期純利益	1,532	2,770	2,683	3,081	3,485

○売上高：37,951百万円　前年同期比0.7%減
○営業利益：4,837百万円　前年同期比4.7%増で2期連続過去最高を更新
○親会社株主に帰属する当期純利益：3,485百万円　前年同期比13.1%増で2期連続過去最高を更新

1-3. 事業成績

ODELIC

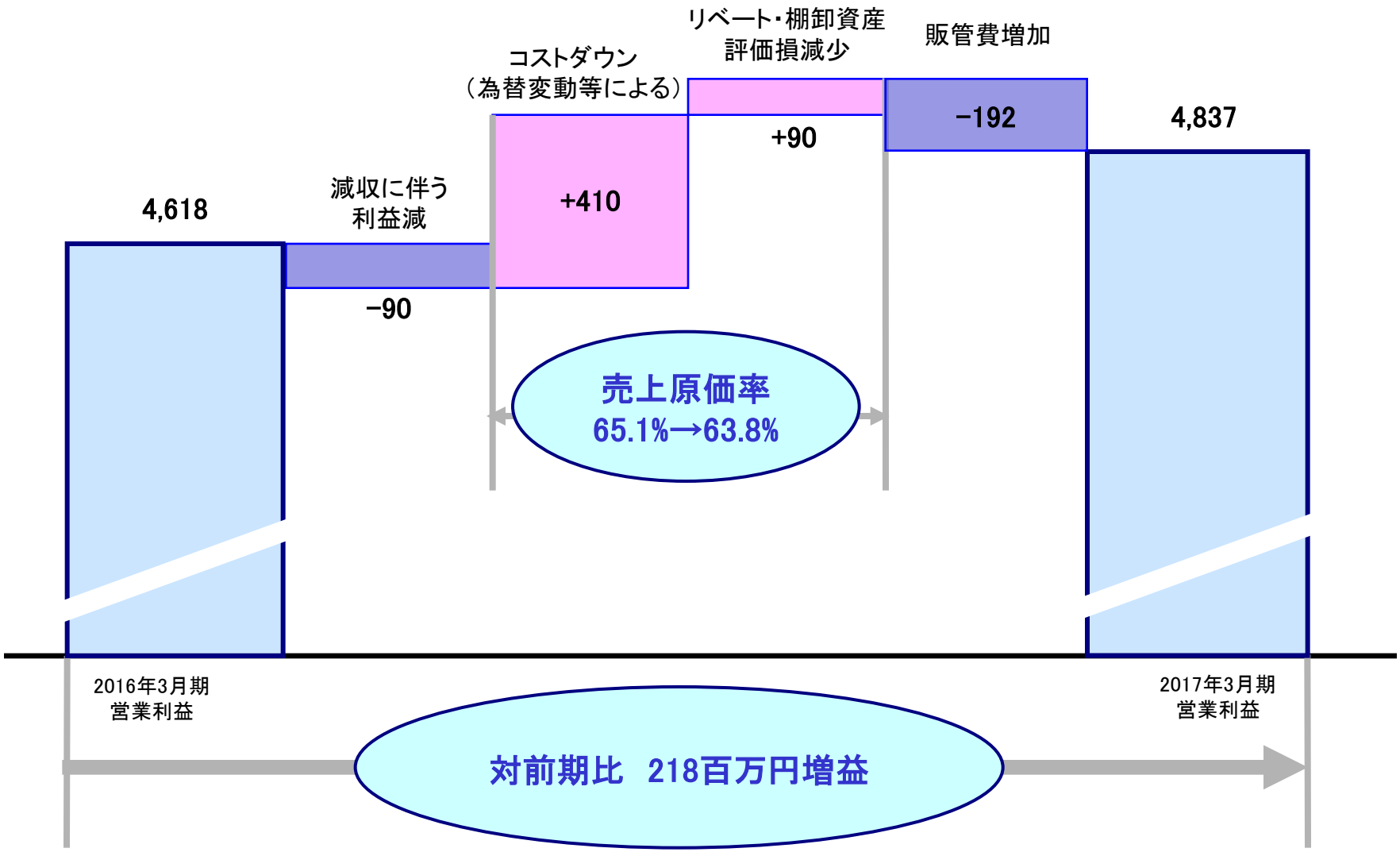
（単位：百万円）	2017年3月期（当期）			2016年3月期（前期）			対前年同期増減		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高	17,998	19,953	37,951	17,520	20,684	38,204	477	△ 731	△ 253
売上高前期比	102.7%	96.5%	99.3%	106.6%	107.0%	106.8%			△0.7%
売上原価	11,481	12,732	24,213	11,315	13,561	24,877	165	△ 829	△ 664
売上総利益	6,517	7,220	13,738	6,204	7,122	13,327	312	98	410
売上総利益率	36.2%	36.2%	36.2%	35.4%	34.4%	34.9%			1.3%
営業利益	2,117	2,719	4,837	1,957	2,660	4,618	159	58	218
経常利益	2,201	2,697	4,899	2,031	2,732	4,764	170	△ 34	135
親会社株主に帰属する当期純利益	1,484	2,000	3,485	1,332	1,748	3,081	151	252	404

○売上高：上半期好調なるも下半期に非住宅部門が伸び悩み前期実績をわずかに下回る
○売上総利益率：主に為替の影響とコストダウンにより上昇

1-4. 営業利益増減分析

ODELIC

（単位：百万円）



1-5. 資産・負債の増減

ODELIC

（単位：百万円）	2017年 3月期	2016年 3月期	前期比 増減
流　動　資　産	26,881	25,190	1,691
固　定　資　産	10,357	10,030	326
有形固定資産	6,391	6,302	88
無形固定資産	1,168	1,150	18
投資その他の資産	2,797	2,577	219
資　産　合　計	37,238	35,220	2,017
流　動　負　債	7,313	7,964	△ 651
固　定　負　債	2,237	2,198	39
負　債　合　計	9,551	10,163	△ 612
純資産合計	27,687	25,057	2,630
負債純資産　合計	37,238	35,220	2,017

主な増減
（資産） ・現預金増加：2,512 ・受取手形及び売掛金減少：168 ・棚卸資産減少：646
（負債） ・仕入債務減少：623
（純資産） ・親会社株主に帰属する当期純利益増加：3,485 ・剰余金の配当による減少：843

1-6. キャッシュ・フロー

ODELIC

（単位：百万円）	2017年 3月期	2016年 3月期	前期比 増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,237	2,874	1,363
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,870	△ 1,398	△ 472
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 854	△ 677	△ 177
現金及び現金同等物の増減額	1,512	799	712
現金及び現金同等物の期首残高	8,774	7,975	799
現金及び現金同等物の期末残高	10,286	8,774	1,512

当期の主な内訳

（営業活動によるキャッシュ・フロー）
・税金等調整前当期純利益：4,888
・減価償却費：734
・棚卸資産減少：646
・仕入債務減少：623

（投資活動によるキャッシュ・フロー）
・定期預金預入による支出：1,000
・有形固定資産取得による支出：803

（財務活動によるキャッシュ・フロー）
・配当金支払額：843

ODELIC

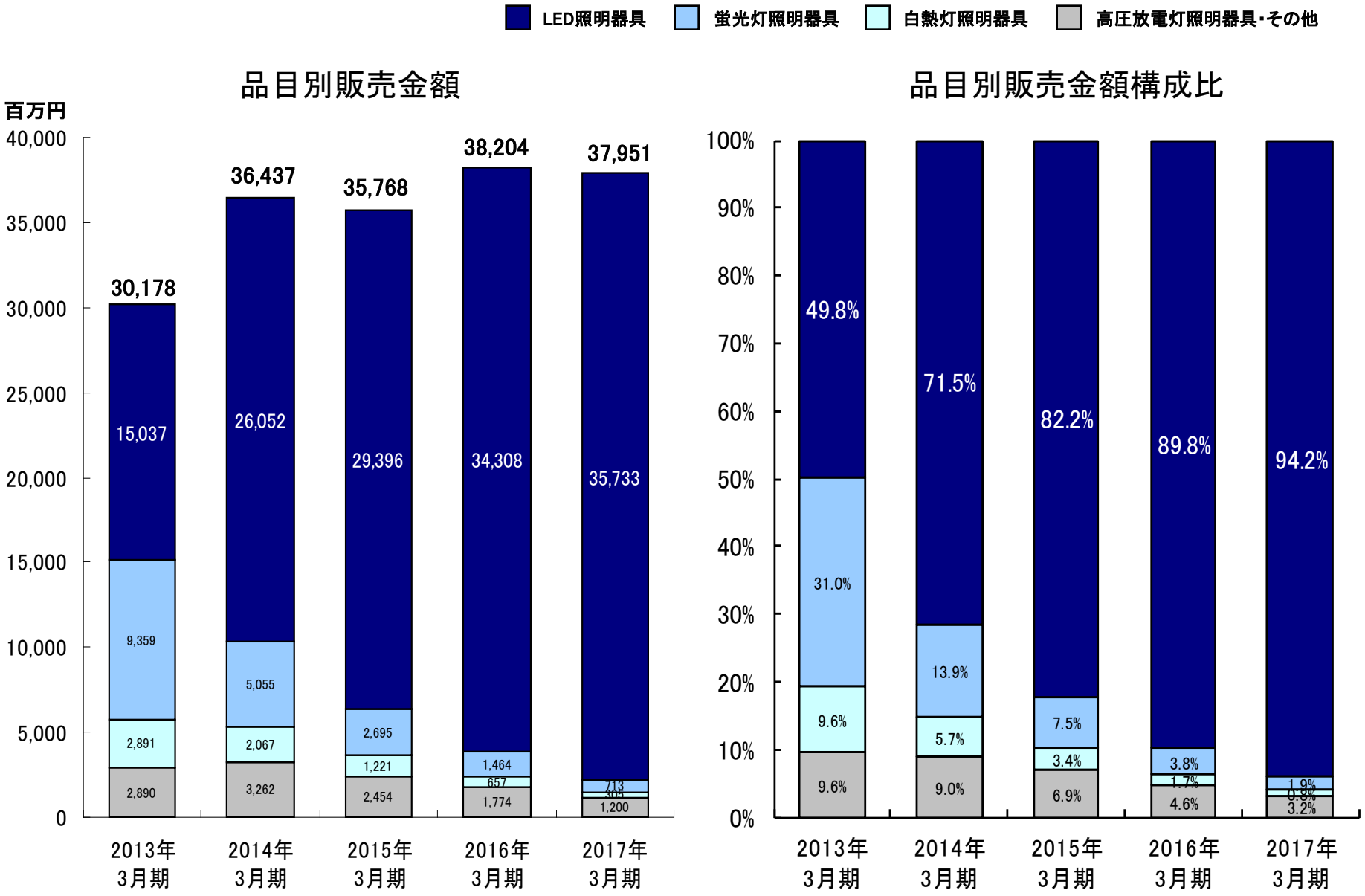
2-1. 販売金額・構成比推移

2-2. 当期における取り組みと実績（住宅向け）

2-3. 当期における取り組みと実績（非住宅向け）

2-1. 販売金額・構成比推移

ODELIC



2-2. 当期における取り組みと実績（住宅向け）

ODELIC

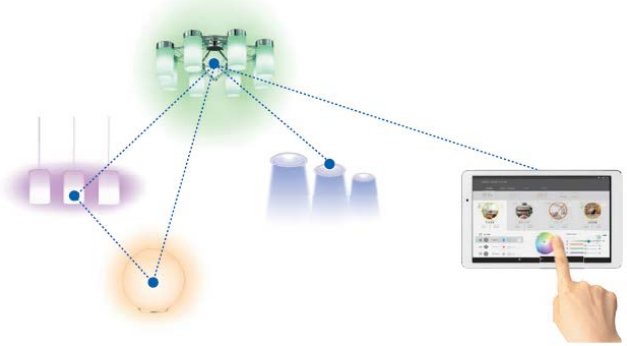
照明コントロールシステム CONNECTED LIGHTING for Home発売

無線でつながれた家中の照明器具を、どこからでもコントロールできる照明システムを開発し下半期以降、順次展開を開始した。

近くの器具を通じて遠くの器具まで信号を受け渡しする「つながるあかり」システムとなっており、タブレットやスマホ、別売の専用リモコンでコントロールが可能となっている。タブレットでは家の「あかりの見える化」を実現、各部屋のあかりの消費電力、電気料金もわかる。

当期においては、シーリングライトやダウンライトの販売が中心となった。

赤・緑・青(RGB)のLEDを組み合わせることにより、フルカラー調光・調色を可能にしたLC-FREE RGBもラインナップし、「普段のあかり」においては、太陽の複雑な色に近い細かな調光・調色ができるほか、「特別なあかり」として多彩な光の色を表現。コントローラーを使って感覚的に、空間全体をドラマチックに彩ることが可能となり、ショールームや展示会でのPRを進めた。



2-3. 当期における取り組みと実績（非住宅向け）

ODELIC

1.商空間向けLED照明器具OS（オーエス）カタログ2巻発刊

店舗向けLED照明器具カタログOS(オーエス)について、「OS05」を2016年4月に発刊した以降も、店舗向け製品の開発をさらに進め、2016年12月には「OS05.5」カタログを発刊。掲載品種は約3,400点まで増加し、明るさのほか、配光角度や色温度などが異なる豊富な品揃えを用意し、飲食や物販店舗の案件獲得、受注に向けた営業活動を進めた。

2.各種用途向け新製品を発売

・新型防犯灯
当期に発売した新型防犯灯は、（公社）日本防犯設備協会において優良防犯機器（RBSS)に認定され、LED防犯灯の販売は前期比19%増加した。

・非常用照明器具
国土交通省大臣認定を取得し前期より販売を開始したLED非常用照明器具について、自己点検機能を装備するモデルチェンジを実施。LED非常用照明器具の販売は前期比140%増加した。

・角型高天井用器具
工場や倉庫等で使用する、高天井用器具に角型タイプを投入。ラインナップを増やして施設物件への提案を進めた結果、高天井用器具の販売は前期比32%増加した。

RBSS（優良防犯機器認定制度）

公益社団法人 日本防犯設備協会が安全・安心のために、防犯機器に必要とされる「機能」と「性能」の基準を策定し、その基準に適合した機器を「優良防犯機器」と認定することにより、優良な防犯機器の開発及び普及活動を図る自主認定制度です。

本製品は犯罪抑止等を意図した商品ですが、犯罪の防止、安全を完全に保証するものではありません。
万一被害など発生した場合、当社は責任を負いかねますのでご了承くださいませ。

優良防犯機器
RBSS
公益社団法人
日本防犯設備協会

認定商品にはRBSSマークを表示しています。

ODELIC

3-1. 2018年3月期業績予想

3-2. 中期経営計画 数値目標

3-3. 中期経営計画 重点施策

3-1. 2018年3月期業績予想

ODELIC

	2017年3月期 実　績	2018年3月期 予　想
売上高（百万円）	37,951	40,000
営業利益（百万円）	4,837	5,000
経常利益（百万円）	4,899	5,100
親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	3,485	3,500
1株当たり 当期純利益（円）	578.61	580.99
年間配当金（円）	140.00	150.00
配当性向	24.2%	25.8%

2018年3月期業績予想の考え方

2016年度において前年度比5.8%増となった新設住宅着工戸数について、2017年度では着工戸数全体としては減少となるものの、戸建住宅は増加を予想。

LED照明器具の単価下落は2018年3月期においても2～3%程度の幅で続く恐れはあるが、制御機能を付加した製品や、ハイパワータイプ製品の積極的な営業活動により平均単価の維持に取り組む。

店舗や商業施設等の非住宅分野で2ケタ成長を果たすことで、売上高は前期比5.4%増の40,000百万円を計画。

国内の自社工場を主体とする生産体制を維持し、売上原価率低減に向けたコストダウンを引き続き推進。

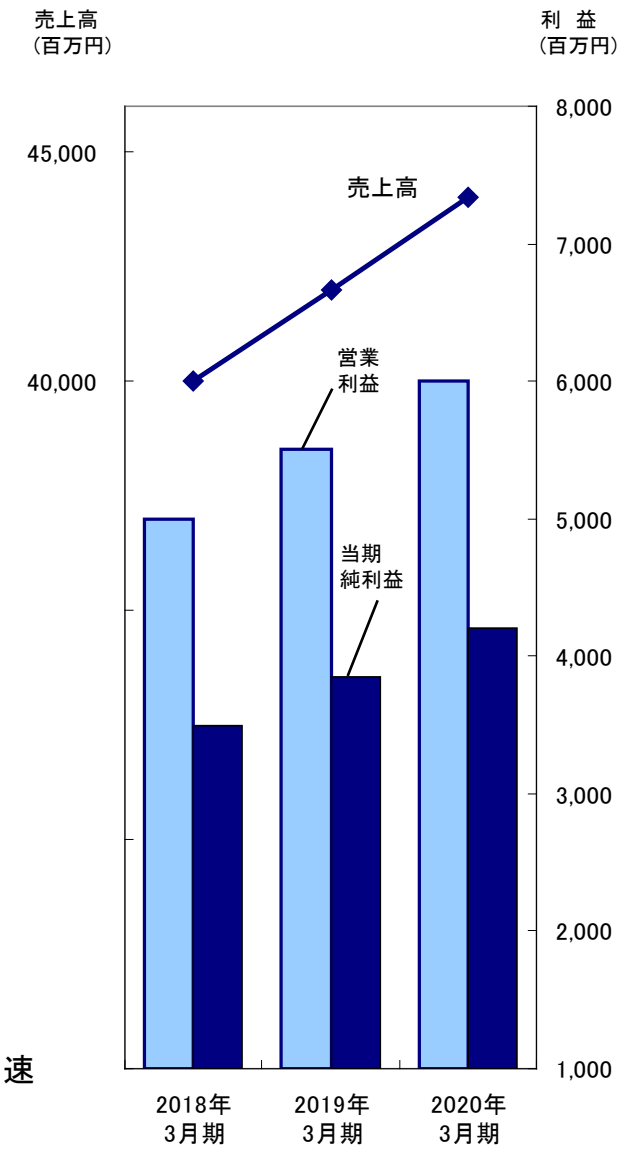
販売費及び一般管理費の伸びを抑え、営業利益5,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3,500百万円と最高益の更新を目指す。

増益予想をもとに、株主配当金については、中間配当60円（前期60円）、期末配当90円（前期80円）、年間配当金は150円と前期比10円の増配とする計画。

3-2. 中期経営計画 数値目標

ODELIC

	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
売上高(百万円)	40,000	42,000	44,000
営業利益(百万円)	5,000	5,500	6,000
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,500	3,850	4,200
売上高営業利益率	12.5%	13.1%	13.6%



中期経営計画期間中の当社グループを取り巻く環境

◆消費税率8→10%に引き上げ:駆け込み需要と反動減が発生

◆東京オリンピック・パラリンピック開催:再開発計画、施設整備等の投資が発生

◆水銀ランプ製造・輸出入禁止(水俣条約:2021年以降):LED照明への切り替え加速

◆建築物省エネ法 規制措置施行:省エネ化が加速

3-3. 中期経営計画 重点施策

ODELIC

(1)照明コントロール機能の充実による高付加価値化推進

2016年度において照明コントロールシステムCONNECTED LIGHTINGを発表し、タブレット等のコントローラーから離れた空間のあかりも自由に設定・変更できる機能に加え、あかり電力の見える化も実現。
引き続き住宅、店舗、オフィスなどさまざまな用途に向けた「つながるあかり」対応品を開発し、付加価値アップを図る。

(2)住宅照明分野：ストック市場のLED化提案

2017年3月期において当社グループの照明器具出荷の94%がLEDとなるまでに普及が進んだものの、国内の既設照明器具におけるLED化率は、未だ3割程度と予測。
「エネルギー革新戦略」（経済産業省）に掲げられた「2030年度にLED等の高効率照明をストックで100%にする」（国内の既設照明器具を全てLED等の高効率照明に）との戦略に沿ってLED化を進める動き、2017年4月から建築物省エネ法で規制措置が施行されたことに伴う省エネ化加速の動きもあり、住宅照明分野の売上を維持・拡大すべく、既存光源からLEDへのリニューアル提案に注力する。

あかり電力の見える化

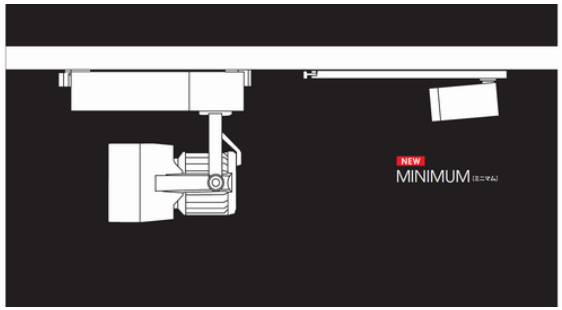
タブレットから家のすべてのあかりの状態が見える。

3-3. 中期経営計画 重点施策

ODELIC

(3)店舗照明分野:ラインナップ拡充

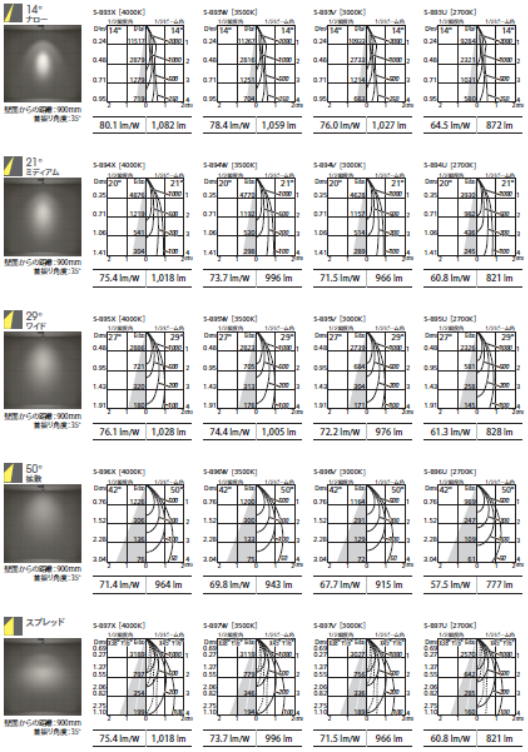
飲食、物販、サービスなど、その形態によって求められる光の演出はさまざまであり、要求される光の実現に応えるべく、配光角度、色温度、器具光束などが異なる製品の、さらなるラインナップ拡充を進める。
光学性能の追及はもちろんのこと、デザイン性にもこだわり、機能とデザインの両立を図る。



(4)施設照明分野:ハイパワー照明の提案による単価アップ

LEDのハイパワー化実現によって、高天井器具や投光器といった施設向け照明器具の開発を強化する。水銀に関する水俣条約では、2020年12月31日以降、一般照明用の高圧水銀ランプの製造・輸出入が禁止され、水銀ランプからLEDへの取替え需要が見込まれることから、こうした需要を取り込むべく、製品開発と提案営業を強化する。

		4000K	3500K	3000K	2700K
14° ナロー	[オフホワイト] ○	XS 413 101	XS 413 103	XS 413 105	XS 413 131H
	[ブラック] ●	XS 413 102	XS 413 104	XS 413 106	XS 413 132H
21° ミディアム	[オフホワイト] ○	XS 413 107	XS 413 109	XS 413 111	XS 413 133H
	[ブラック] ●	XS 413 108	XS 413 110	XS 413 112	XS 413 134H
29° ワイド	[オフホワイト] ○	XS 413 113	XS 413 115	XS 413 117	XS 413 135H
	[ブラック] ●	XS 413 114	XS 413 116	XS 413 118	XS 413 136H
50° 拡散	[オフホワイト] ○	XS 413 119	XS 413 121	XS 413 123	XS 413 137H
	[ブラック] ●	XS 413 120	XS 413 122	XS 413 124	XS 413 138H
スプレッド	[オフホワイト] ○	XS 413 125	XS 413 127	XS 413 129	XS 413 139H
	[ブラック] ●	XS 413 126	XS 413 128	XS 413 130	XS 413 140H



3-3. 中期経営計画 重点施策

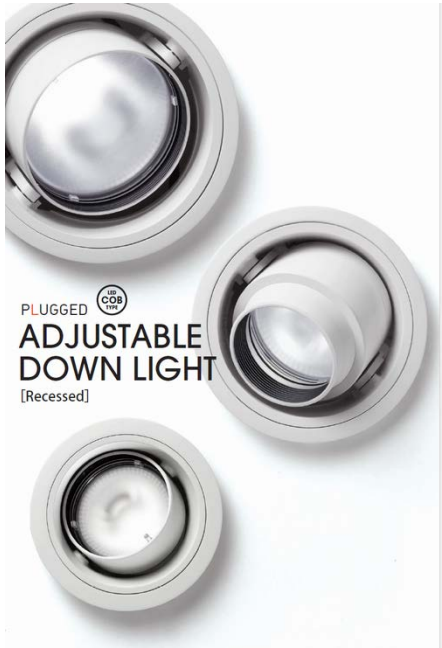
ODELIC

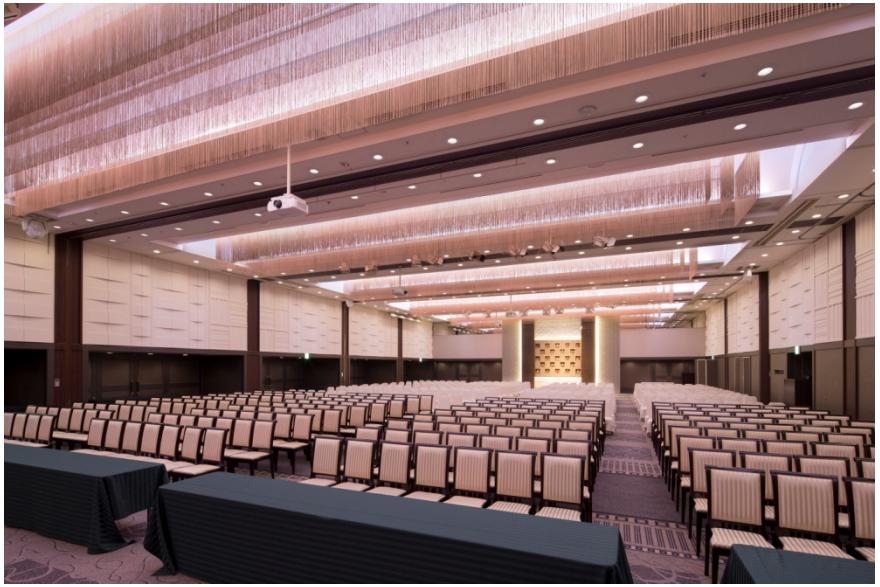
(5)施設照明分野：案件獲得と高品質な照明計画

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う施設整備のほか、首都圏を中心に活気づく大型再開発への照明提案等、各地の事業所にて案件のプラン獲得をさらに積極化するとともに、質の高い照明計画で受注確率の向上に取り組む。

(6)海外への展開加速

ASEANを中心とし、中東地域にも展開を広げ、現地代理店を通じて店舗や商業施設物件などに向け、営業を進めているものの海外売上比率は全体の1%未満となっている。
LED化が加速する海外市場に向け、高品質LED照明器具の提案を積極化する。





4. 資料

ODELIC

・プロフィール

・株主状況

プロフィール

ODELIC

社名	オーデリック株式会社 （ ODELIC CO., LTD. ）
代表者	代表取締役社長　伊藤雅人
本店	東京都杉並区宮前1-17-5　03-3332-1111（代表）
設立	1951年6月
上場	1996年11月 （東京都証券取引所 JASDAQ市場）
資本金	31億550万円
連結対象子会社	山形オーデリック（株）（生産、物流管理業務）
	（株）日本ライティング （販売）
	オーデリック貿易（株）（輸入、販売）
	アルモテクノス（株）（開発、生産）

株主状況

ODELIC

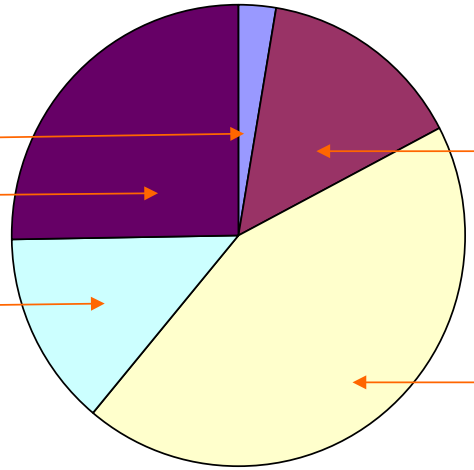
発行可能株式総数	28,941,000 株	（2017年3月31日現在）
発行済株式の総数	6,100,000 株	
株主数	4,188 名	
１単元株式数	100 株	

大株主

株主名	持株数（千株）	出資比率(%)
㈲アマセクリエート	625	10.25
オーティアイ㈱	430	7.05
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱	240	3.95
オーデリック従業員持株会	230	3.78
㈱みずほ銀行	175	2.88
伊藤惠美子	165	2.72
オーデリック取引先持株会	164	2.69
伊藤雅人	150	2.47
㈱三井住友銀行	150	2.46
㈱三菱東京ＵＦＪ銀行	100	1.64

※当期末現在の当社所有の自己株式数は75,835株、構成比率1.24%

所有者別分布状況



ODELIC

当資料の取り扱い上の注意

当資料に記された当社の現在の計画、予想、戦略等は将来の業績に対する見通しであります。 これらは、現在において入手可能な情報を基にオーデリックの経営者が判断し、作成されたものです。新たな情報、将来の事象、その他の判断に基づき、将来の見通しを見直すことがあります。

本資料に関するお問い合わせ先　　オーデリック株式会社
経営企画ゼネラルマネージャー　田中　豊
Tel　03-3332-1107
Fax　03-3332-1105